

音楽
と
美術

この1枚



《転位'90—地—上野(『東京百景』第2集より)》
1951年 エッチング、メソチント(線刻)、紙
44.2x36.2cm 世田谷美術館蔵



Cornelius / Mellow Waves
Warner Music 2017年(CD)
ジャケットには中林の《あの瞬間だけのために》(1975年)を使用。ミニマルな「Point」(2002年)から官能的な「Sensuous」(2006年)へ、さらに円熟へと向かう作品。

中林忠良

《転位'90—地—上野(『東京百景』第2集より)》

油画とは異なる理知的な美の世界

中林忠良(1937年-)は、東京藝術大学の授業で銅版画のパイオニアの駒井哲郎(1920年-1976年)と出会い、腐食銅版画の道を志した。駒井が目の前で刷って見せた、その銅版画の繊細な表現に魅了され、油画とは異なる理知的な美の世界に引き込まれた。

1976年10月、中林はヨーロッパの研修から帰国、その翌月に駒井は亡くなる。研究室を引き継ぎ、作風にも変化がおとずれた。外国の諸都市をめぐって感じた浮遊する感覚から、「地に足がついた状態でありたい」と思って、地面をモチーフにしました」と中林は語る。

《転位'90—地—上野(『東京百景』第2集より)》には、藝大の校舎の6階から見下ろした緑豊かな「上野の杜」に寛永寺やビル群が遠景に描かれる。この「転位」シリーズは1978年に始まり、大地の芝草に枯葉が落葉のように散りばめられている。

『東京百景』は昭和初期の東京風景を描いた版画集『新東京百景』にならい、100人の現代の版画家からなる、いわば平成版である。「このところ上野の草や地をモチーフとして仕事をしているので、この二つを組み合わせ、自分の足元を見つめ直すという“東京百景”になりました」と同作を説明する。

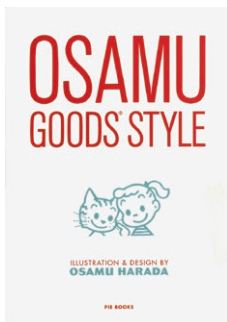
意外なことに、コーネリアスこと小山田圭吾の11年ぶりのオリジナル・アルバム「Mellow Waves」のジャケットに、中林忠良の銅版画が使われた。実は中林は小山田の叔父にあたり、父(ミュージシャンの三原さと志)の妹の夫なのである。腐食液に浸して時間をコントロールする叔父の版画と自分の作曲法の偶然性に共通点を見出し、コラボレーションが実現した。

世田谷美術館 学芸員 矢野 進

担当した主な展覧会に、「瀧口修造と武満徹展」、「植草基一/マイ・フェイヴァリット・シングス」、「東宝スタジオ展 映画=創造の現場」、「花森安治の仕事」、「ある編集者のユートピア 小野二郎」など。

音楽
と
本

この1冊



『OSAMU GOODS STYLE』
(2005年、ピエ・ブックス)



© Osamu Harada / Koji Honpo

原田 治

《OSAMU GOODS STYLE》

いつみても新鮮 誰がみてもかわいい

今回ご紹介する一冊は、イラストレーター・原田治(1946~2016)の作品集、『OSAMU GOODS STYLE』です。

たとえ原田治の名は知らずとも、その可愛いキャラクターたちには見覚えがあるはず。簡潔な描線と爽やかな色彩のイラストレーションは、ミスタードーナツのプレミアム(景品)をはじめ、様々な企業広告やグッズ、雑誌の誌面を彩ってきました。

その原田治の代表作であり、自らデザインも行ったのが、OSAMU GOODS(オサムグッズ)です。1950~60年代のアメリカの生活雑貨をモチーフにした文具房や日用品は、1980年代、女子中高生の間で大人気となりました。

一説によると10,000種近い商品がリリースされたOSAMU GOODSですが、中には音楽に関するアイテムもあります。

左の写真はその一つ、「LPバッグ」です。LPレコードサイズの厚手のビニールバッグ

ですが、当時大ヒットし、様々なイラストのバージョンが発売されました。

そして、ご注目いただきたいのは中央に描かれた「Bali-hi(バリ・ハイ)」の文字。戦後のアメリカでヒットし、映画化もされたミュージカル、『南太平洋』に登場する島の名です。同名の劇中歌は、現在にいたるまで多くのシンガーによって歌い継がれています。

さて、今見ても新鮮な魅力に満ちたOSAMU GOODSが200点以上掲載された本書、残念なことに現在は絶版となっています。しかし、OSAMU GOODS公式サイト(www.osamugoods.com)にて、その一部をご覧いただけますので、是非アクセスしてみてください。

世田谷文学館 学芸員 大竹 嘉彦

世田谷文学館では「原田治 展 『かわいい』の発見」を9/23まで開催中。ミュージアムショップでは多彩なOSAMU GOODSを販売しています。